

令和元年度 5 学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○物語の登場人物の心情を叙述に即して豊かに読み取ったり、説明文の要旨を捉え、言葉を選んで分かりやすく要約したりすることができる。 ○相手が伝えたいと思っている大事なこと（「いつ」「だれが」「何を」「どのように」等）を落とさないよう、聞いた内容を端的にまとめながら聞くことができる。伝えたいことの内容や順序を整理して、相手に分かりやすく伝えることができる。 △表現や構成を工夫しながら自分の気持ちや考えを書き表すことができる児童が多い。一方、句読点や「」、接続語の正しい使い方を十分理解できていない児童もいる。 ○字形に気を付け、丁寧に漢字を書くことができる。また、そうできるよう成長が見られた児童もいた。計 20 回の漢字小テストでの平均点は 78 点であった。</p>	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力 ・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を明確にして学習の見通しをもたせ、書くために必要な情報を十分に収集したり、整理したりできるようにさせる。 ・構成メモを用いて考えを交流したり、書きあがった文章を互いに推敲し合ったりして、相手や目的に応じた文章が書けているか確かめながら学習を進める。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう 指導時間：14 時間 指導時期：9 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある問題についてマインドマップを用いて挙げさせ、それを交流することを通して、提案書の計画を立て、学習の見通しをもつことができるようにする。 ・構成メモを用いて話し合い、意図が伝わるか、内容が十分であるか、具体例は適切であるか等について意見交流を行う。 ・問題点、提案内容、具体例、解決策等の一つ一つの段階ごとに文章を読み直す場面を設定し、学習課題を解決する上で有効な文章であるか、正しい文章になっているかについて確認させる。

令和元年度 5 学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○どの児童も新しいことに対して興味があり、学習への高い意欲がある。 △基本的な計算はできるが、「□、○」などを用いて場面を式で表すことが苦手とする児童が見られる。 △数直線のかき方は、まだ児童全員の定着には及んでいない。 △C層の児童の中には、3位数÷2位数のわり算で、商を求める時にどの位の数で商が立てられるかで深く悩んでしまうこともある。 △7月に行われた「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、正答率が47.5%であり、観点別で見ると①知識・理解が56.8% ②技能が51.3% ③思考、判断、表現が34.9%であった。中でも「数学的な考え方」の正答率が著しく低く、筋道を立てて数学的な思考で判断する場面での課題が大きく見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を式で表す力を育てる。 ・数学的な見方、考え方を育てる。 ・身の回りの現象に対して算数を関連付け、比較・検討して問題を解決する力を育てる。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を式で表す力を育てるため、数直線を使う活動を取り入れる。 ・文章を読んで分かったことと聞かれていることに下線を引き、言葉で式を表す活動を取り入れる。 ・数学的な見方を育てていくため、身の回りの事象に対して算数を関連付け、比較検討して問題を解決する活動を取り入れる。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 分数のかけ算とわり算を考えよう 指導時間： 6 時間 指導時期： 2 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文に下線を引き、尋ねられていることを明確にする。 ・文章を基に数直線を書き、尋ねられていることを視覚化させ、式を立てやすくする。 ・身の回りの事象において、分数で表すことができる物や分数の理解を確実にする。 ・計算の途中で約分ができるよう、練習問題に繰り返し取り組む。

令和元年度 5 学年 理科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p><学力調査より></p> <p>○今回の学力調査では、「観察・実験の技術」に関する正答率が高く、これまで実験しているいろいろ子供たちが経験してきたことが、児童の学力向上につながったことが分かった。</p> <p>△理科で正答率が例年低い内容には、今年も課題があった。具体的には「電気を通す物が銅、鉄、アルミニウムであること」を問う問題や「直列つなぎとはどういうものか」を問う問題である。授業を受けた直後は、点数が取れているが、長期的な記憶にならないところが課題である。今回正答率が低かったところは1つの問題に対して、解答数を指定せずに、全て答えなさいと指定されている箇所が多かった。</p> <p><普段の様子></p> <p>○新しいことを学ぶことに対して興味が強く、意欲的に学習できる児童が多い。</p> <p>△身の回りの現象を関連付けることや、比較・検討して問題を解決する力が不足している。</p>	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・電磁石の強さの変化について追究する活動を通して、電流のはたらきについて条件を制御して調べる能力を育てるとともに、それらについての理解を図る。予想を基に、解決方法を発想する力や主体的に問題を解決しようとする態度を育成する。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・身の回りの現象を関連付けられるように、身の回りの現象をイメージしやすくする。</p> <p>・複数のデータを提示し、比較したり、関連付けたりしながら、説明する機会を多くとる。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 電磁石の性質 指導時間：14 時間 指導時期：12 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・既習事項や生活経験を基にして、根拠のある考えを書くようにさせる。複数の自然の事物・現象を対応させ比べるだけでなく、予想と結果を比較するということや、友達の考えと自分の考えを比較するという交流を通して、自分の考えをより妥当な考え方にすることができるようにする。個人で考えた後、グループ、学級全体と考えを伝え合う活動を通して、問題に正対した妥当な考えをつくり出し、表現することができるようにする。</p> <p>・実験や観察で分かったことを、図や表、グラフ等にまとめることで理解を深め、課題を解決する力が不足しているので、複数のデータを提示し、比較したり、関連付けたりしながら、説明する機会を多くとる必要がある。</p> <p>・考察する場面では、「問題に対して何が分かったのか」「予想と結果を対比させ、何が分かったのか」ということを考えさせる。</p> <p>・しっかりと机間指導を行い、基礎基本の定着ができるような支援や指導を行い、個別指導の充実を図る。また、学習集団の質的向上を図ることで、科学用語を適切に使いながら協力して学習を進められるようにする。</p>

令和元年度 5 学年 社会科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○学習課題に対しての考察や意見交流に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、それを発表することに対しては消極的な児童が多い。 ○用語の意味を教科書や資料集で調べたり、その用語を使って学習のまとめの文章を書いたり説明したりすることができる。 △都道府県や世界の国々の名前と位置について正しく理解できていない児童がいる。 △教科書や資料集を読んで、自分の考えをまとめることができるものの、掲載されているグラフや図、資料が何を示すものなのかを理解できている児童は少ない。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業生産の特色について、図やグラフ、統計から必要な情報を読み取り、日本の工業生産の特色と今後のあり方について考える力 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集に掲載されている図やグラフなどを見る時は、ただ見るのではなく、「何を示すものか」を考えた上で、読み取らせる。 たくさんの資料から自分に必要な情報は何か適切なものは何かを考える。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：工業の今と未来 指導時間：6 時間 指導時期：1 2 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単に調べるのではなく、調べる視点を明確にしたうえでグラフや図を読み取らせたり、比較させたりする。 グラフから読み取ったことを白地図に書き込ませるなど、読み取る力だけでなく活用する力も伸ばせるようにする。 読み取ったことから、自分の考えをもたせグループで交流する。その際には、「自分が使ったグラフ」などと参考にした資料を示す。同じグラフを使った人同士で意見が違った場合、それをメモしたり、自分の意見を考えなおしたりして良いこととする。(考えの再構築を促す)

令和元年度 5 学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○安全に気を付けたり、ルールを守ろうとしたりする姿勢が見られる。加えて友達と励まし合い、楽しみながら運動に取り組むことができる。 ○跳び箱では、できない技をできるようにするために、めあてや「がんばること」を設定し、それを達成できるように運動の行い方を工夫したり、練習の場を選んだりすることができた。 △バスケットボールでは、チームで作戦を考えたり自分の得意なこと（走る、相手をマークするなど）を生かしたりして試合に取り組むことができた。しかし、得意な児童ばかりがボールを触ったり、得意でない児童がゲームにうまく取り組めていなかったりする様子が見られた。 △体育や体を動かすことが好きな児童は多いが、単元によって個人の運動能力の差がはっきりしている。体力テストのハンドボール投げの様子からボールを投げる動作において、重心の移動、体のひねり、腕の動きなどの連動が見られず遠くにボールを投げられる児童が少なかった。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・運動の特性に応じた基本的な技能</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・単元の導入段階で感覚づくりの運動を十分に取り入れる。 ・自分の能力に応じて、練習する場を選ぶことができる環境づくり、得意な児童にミニ先生として苦手な児童についてもらい、アドバイスをしたり一緒に練習したりするなどのアウトプットを通して学習を深められるようにする。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：マット運動 指導時間：5 時間 指導時期：1 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・カエルの足打ちやゆりかごなど、準備運動の一環として感覚づくりの運動を行う。 ・①自分のできる技を確認 ②技能の向上 ③新しい技に挑戦の3段階に分けてマット運動に取り組ませる。 ・アドバイスタイムをチームで設けて、苦手な児童に対してチームでアドバイスをする活動をする。 ・③の活動の際には、技の流れや体の動かし方が確認できるようにタブレット端末を用意する。</p>

令和元年度 5 学年 図画工作科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○自分の考えや思いを作品に表そうとする意欲が見られる。単元によって使う材料や用具が異なる中、それぞれの特徴を生かして表現することができる児童が多い。 △友達の作品のよい所を見つけたりすることができ、それを認める言葉かけができる。また、友達の作品を参考にして自分の作品作りに取り組むことができる。その反面、友達の作品を真似してしまう傾向も強い。これは、自分の作品に自信がもてない、不安があることが原因と考える。 △自分の考えや思いはもっているものの、それを表現する方法が思い浮かばなかったり、表現する技能が身に付いていなかったりなど、児童間で差が見られる。混ぜる水の量によって絵の具の色の映え方が違うことが十分に理解できていなかったり、金づちやペンチなどの工具が上手に使えなかったりするのは日常生活で使う経験がないからだと考える。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・活動の中で、色の重なりに気付いたり、ほりや刷りを試したりすることを通して、活動しながら考えたりして、思い付いたことを表現する力を培う。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・用具の操作方法について導入場面で指導を行う。試しの活動を行ってから本時の活動に取り組むようにする。 ・上手に作れない、描けない、使えないなどは、気にしないという声かけなど失敗や上手に作れない不安などを感じさせない授業環境を整える。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：見える見える！遠くに、近くに 指導時間：4 時間 指導時期：12 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・単元前半に、活動の流れや用具の使い方の例をしっかりと示した後、本時で使う技能を試す活動を行う。 ・形の大小や重なり、色の濃淡などを生かした方法を使うことができるようになるためにも最初の例示を丁寧に行う。遠近法などの技能にも挑戦させる。 ・友達の作品から参考にするのは、「技能や工夫」と事前に声かけを行う。上手に活動を進めることができていない児童への対応としては、その作品の中でも良いところを見つけて褒めたり、「○○したらもっと良くなりそうだね」と声かけを行ったりする。</p>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○歌唱活動にとっても興味をもって取り組み、表現を工夫してきれいな声で響かせて歌おうとしている。 △恥ずかしがって声が出ない児童が出てきた。 △合唱になると声量が弱くなってしまふところがある。一人一人がしっかりと声を出し、きれいに響かせることができるようにする。 △リコーダーはタンギングに少し課題があり、その他の楽器において演奏技能の個人差が大きい。 ○器楽合奏を多く取り入れたことで、合奏に興味をもち、難しい曲も演奏できるようになってきた。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図を持って響きのある声や音で演奏する。 ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむ。 	
<p>【授業改善策】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を楽しめる魅力のある楽曲を選曲するとともに、グループ活動などを取り入れて合唱の楽しさを実感できるようにする。そして一人ひとりがしっかりと声を出し、きれいに響かせることができるように発声練習、選曲を工夫していく。 ・表現力をさらに伸ばしていくため、歌詞の理解と音楽表現を結び付けやすくするために指導を工夫する。 ・個別指導の時間を取り入れ、グループ活動を通して学び合いができるようにしていく中で、個々の技能を伸ばしていく。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 心を込めて表現しよう 指導時間： 8 時間 指導時期： 2 ～ 3 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を楽しめる魅力のある楽曲を選曲するとともに、グループ活動などを取り入れて合唱の楽しさを実感できるようにする。そして一人ひとりがしっかりと声を出し、きれいに響かせることができるように発声練習、選曲を工夫していく。 ・表現力をさらに伸ばしていくため、歌詞の理解と音楽表現を結び付けやすくするために音色や強弱等の指導を工夫する。 ・個別指導の時間を取り入れ、グループ活動を通して学び合いができるようにしていく中で、個々の技能を伸ばしていく。

令和元年度 5 学年 家庭科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○調理実習では、用具を安全に正しく使い、役割分担し、協力して取り組むことができる。家庭でのお手伝いで身に付けたことを学習に生かしたり、学習したことを生かして家でも調理に取り組んだり、学習と普段の生活を結び付けながら学習に取り組むことができている。 △裁縫では、玉止め、玉結びなどの糸処理や、波縫い、かがり縫い、本返し縫い、半返し縫いなどの縫い方を身に付け、それらを生かして意欲的に作品づくりに取り組むことができた。一方、糸処理が十分でなく、糸がほどけたり、緩くなったりしてしまう児童もいた。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的な理解と、それらに係る技能 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像教材を用い、ミシンの使い方についてポイントを押さえて理解できるようにする。 ・班や小グループでの活動を設定し、一人一人が取り組むことができる機会を保障したり、互いに教え合ったりして技能の向上を図る。 ・児童の学習状況によっては、保護者の力も借りて学習を進めたい。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： わくわくミシン 指導時間： 11 時間 指導時期： 9・10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを初めて用いる際は、映像教材を用い、ミシンの正しい使い方について理解を促す。 ・2人に1台のミシンを用意し、ペア活動の中でお互いに確認し合いながら正しくミシンを使うことができるようにする。また、児童の学習状況によっては、保護者に学習支援の協力を仰ぎ、児童がミシンの使い方に慣れるよう指導の充実を図る。